

第7回平塚市社会教育委員会議 次第

令和7年10月24日（金）

15:00～

平塚市青少年会館 集会室

司会：社会教育課長

1 議長あいさつ

2 議事

（1）第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

（2）テーマ協議

（3）今後の会議予定について

・第8回会議・・・令和8年1月27日（火） 平塚市役所619会議室

（4）その他

【配付資料】

- ・ 次第
- ・ 会議資料
- ・ 社会教育委員会議報告書中面たたき台（A3）
- ・ 社教連会報No.97（委員のみ）
- ・ 令和6年度事業報告（美術館）

} 委員には事前配付

令和6・7年度
平塚市社会教育委員会議
第7回定例会議

令和7年10月24日（金）

平塚市青少年会館 集会室

令和 6 ・ 7 年度 平塚市社会教育委員名簿

	氏 名	分 野	推 薦 母 体 等	任 期
1	ひき ゆきこ 比企 祐紀子	学校教育関係者	平塚市立小学校長会 (相模小学校)	R6.6～
2	わたなべ ようこ 渡邊 容子	学校教育関係者	平塚市立中学校長会 (金旭中学校)	R6.6～
3	こじま まゆみ 小島 眞由美	社会教育関係者	神奈川県公民館連絡協議会	R6.6～
4	すずき けいいち 鈴木 敬一	社会教育関係者	平塚市自治会連絡協議会	R4.6～
5	まるしま たかお 丸島 隆雄	社会教育関係者	平塚市地域教育力ネットワーク協議会	R2.6～
6	ささお ゆういちろう 笹尾 祐一郎	社会教育関係者	平塚市公民館連絡協議会	R6.6～
7	くにまさ みか 國正 弥花	社会教育関係者	公募委員	R6.6～
8	さいごう りゅうたろう 西郷 龍太郎	社会教育関係者	公募委員	R6.6～
9	みやじ かよ 宮路 佳代	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	平塚市PTA連絡協議会	R6.6～
10	にしだ ようへい 西田 洋平	学識経験者	東海大学	R6.6～
11	いいだ しづこ 飯田 しづ子	学識経験者	元小学校長	R4.6～

《平塚市教育委員会》

所属・職	氏 名
教育長	吉野 雅裕
社会教育部長	石川 亜貴子
社会教育部社会教育課長	石塚 誠一郎
社会教育部中央公民館長	鳥居 昌
社会教育部社会教育課担当長	片野 正裕
社会教育部社会教育課主査	木村 圭太
社会教育部社会教育課主事	宮田 恵実

令和 7 年度 平塚市社会教育委員 会議等予定表

日にち	会議名	会場	対象
5 月 12 日 (月)	県社教 理事会①	県民センター	県理事
6 月 4 日 (水) 14:45～	定例会議⑤	平塚市美術館 (ミュージアムホール)	全員
6 月 9 日 (月)	県社教 総会	県民センター	県理事
8 月 5 日 (火) 15:00～	定例会議⑥	平塚市役所 (5 1 9 会議室)	全員
9 月 1 日 (月)	県社教 研修会	総合教育センター	県理事および 希望者
10 月 24 日 (金) 15:00～	定例会議⑦	青少年会館 (集会室)	全員
11 月 10 日 (月) 10:00～	報告書作成打ち合わせ	平塚市役所 (3 1 7 会議室)	出席可能な委員
11 月 20 日 (木) ～21 日 (金)	第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会 (神奈川大会)	関内ホールほか	全員
12 月 8 日 (月)	県社教 理事会②	総合教育センター	県理事
1 月 27 日 (火) 15:00～	定例会議⑧	平塚市役所 (6 1 9 会議室)	全員
2 月 日 ()	教育長及び教育委員との意見交換会	平塚市役所 (教育長室)	議長、副議長
3 月 9 日 (月)	県社教 理事会③	総合教育センター	県理事

(2) テーマ協議について

会議資料の A3 の報告書中面たたき台を参照いただき、どのような内容とするか考えていきたい。

<メモ>

「社会教育で
創る 育む つなげる 共生の未来へ」

第56回 関東甲信越静
社会教育研究大会
神奈川大会

開催要項

令和7年11月20日(木)・21日(金)

【研究主題】

「すべてのひとが
学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」



【会 場】 関内ホール ほか

主催／共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

1 大会スローガン 「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

2 研究主題 「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

3 趣 旨

人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港 166 年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える 2 日間としたいと思います。

4 主 催/共 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育局

5 期 日 令和 7 年 11 月 20 日(木)・21 日(金)

6 参加者 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

7 参加費 4,000 円(参加資料代等) ※学生は 2,000 円



8 日 程

		11:00	12:00	12:30	13:00	14:10	16:20	16:40	18:30
第 1 日目 11 月 20 日 (木) 【全体会】			受付	歓迎 セレモニー	開 会 行 事	記 念 講 演	シンポジウム	閉 会 行 事	情報交換会
		9:30	10:00			12:30			
第 2 日目 11 月 21 日 (金) 【分科会】			受付	分科会 (分科会ごとに閉会)					

9 会 場

【第1日目】＜全体会＞

関内ホール（大ホール） 横浜市中区住吉町 4-42-1

JR 関内駅北口徒歩 6 分、市営地下鉄ブルーライン関内駅 9 番出口徒歩 2 分

【第2日目】

＜第1分科会＞ **関内ホール（小ホール）** 横浜市中区住吉町 4-42-1

JR 関内駅北口徒歩 6 分、市営地下鉄ブルーライン関内駅 9 番出口徒歩 2 分

＜第2分科会＞ **横浜市開港記念会館（講堂）** 横浜市中区本町 1-6

みなとみらい線日本大通り駅 1 番出口徒歩 1 分、JR 関内駅南口徒歩 10 分

＜第3分科会＞ **横浜情報文化センター（情文ホール）** 横浜市中区日本大通 11

みなとみらい線日本大通り駅 3 番情文センター口直結、JR 関内駅南口徒歩 10 分

＜第4分科会＞ **横浜市技能文化会館（多目的ホール）** 横浜市中区万代町 2-4-7

JR 関内駅南口徒歩 5 分、市営地下鉄ブルーライン伊勢佐木長者町駅 2 番出口徒歩 3 分

＜第5分科会＞ **かながわ県民センター（ホール）** 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2

JR・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩 5 分

10 大会内容

【11月20日（木）】第1日目＜全体会＞

11:00～12:00 全体会受付

12:00～12:20 歓迎セレモニー 「中国獅子舞」 学校法人横濱中華學院

12:30～13:00 開会行事

・主催者あいさつ

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長
全国社会教育委員連合会長

・来賓祝辞

・歓迎のことば

・来賓紹介

13:10～14:10 記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」

認定 NPO 法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

14:20～16:20 シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために

社会教育ができること」

＜コーディネーター＞

青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授 伊藤 真木子 氏

＜シンポジスト＞

東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏

一般社団法人視覚聴覚障害アドボカシー研究所マイノリティリサーチセンター研究員

相模原市社会教育委員 渡邊 健一 氏

前厚木市立森の里公民館長 青木 信二 氏

16:20～16:40 閉会行事

・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）

・全員合唱 ゆず「栄光の架橋」 作詞：北川悠仁 作曲：北川悠仁

・閉会のことば

【11月21日（金）】第2日目＜分科会＞ 10:00～12:30（分科会受付 9:30～10:00）

第1分科会		会場：関内ホール（小ホール）
テーマ	＜地域の教育力の再生と社会教育委員の役割＞ 地域の教育力の低下が指摘される中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	
助言者	聖学院大学 准教授 若原 幸範 氏	
事例発表者	内 容	
【長野県下諏訪町】 下諏訪町社会教育委員 依田 秀人 氏	星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び ～紙芝居を作った私たちの物語～	
	社会教育委員が星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学びを紹介する。紙芝居制作を通じて、地域の歴史と文化を子どもたちに伝える取り組みを行い、その過程で得た成果と課題について発表する。	
【神奈川県海老名市】 海老名市社会教育委員会 議長 橋本 絵美里 氏 副議長 金田 ゆかり 氏	子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して	
	本市では、「子どもの活動支援をとおして、子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人が、人と人とのつながりを広め、深め、子どもと大人がともに育つ社会の構築」を社会教育目標に掲げ、社会教育委員自ら行動し、社会教育計画の進捗を支えている。	

第2分科会		会場：横浜市開港記念会館（講堂）
テーマ	＜次の世代につなぐ持続可能な社会＞ 予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	
助言者	青山学院大学 准教授 大木 真徳 氏	
事例発表者	内 容	
【栃木県市貝町】 市貝ジュニアリーダーズクラブ会長 永島 誠強 氏	地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について	
	高校生の「やってみたい」という思いから始動した、地域初の音楽フェスである。開催決断にいたるまでの経緯や、準備中の困難だった点、イベントを経験した高校生たちの地域のこれからのかける思いなど、詳細について説明を行う。	
【神奈川県藤沢市】 藤沢市社会教育委員会 認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構	「未来を担う人材育成～地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム～」	
	藤沢市社会教育委員会が深く関わり策定された「生涯学習ふじさわプラン 2026」に位置付けられている「未来を担う人材育成」について考える。具体的な事例として、「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」を紹介する。	

第 3 分科会 会場：横浜情報文化センター（情文ホール）	
テーマ	＜家庭教育支援＞ 子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。
助言者	鎌倉女子大学 教授 久保内 加菜 氏
事例発表者	内 容
【群馬県高崎市】 高崎市社会教育委員 小池 美千子 氏	「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援の方策について
	子ども世帯の減少、核家族化進行など家庭を取り巻く環境の変化等により親（保護者）が抱える悩みも複雑化している。本市では、「学び」を通じて親子が自立する力を高め、自信を持って成長し、活躍できるための家庭支援の方策について、提言をまとめた。
【神奈川県寒川町】 寒川町社会教育委員会 寒川町教育委員会生涯学習課 副主幹 山口 明子 氏	子どもの未来を地域で育てる ～公民館・図書館における家庭教育支援の取組～
	子どもが社会性を身につけ、自立心を育むためには家庭教育の役割は重要である。近年は家庭環境が多様化し、課題を抱える家庭もみられる。地域全体で子どもの健やかな成長を支援し、学ぶ機会の充実に向けて、地域の身近な学びの場である公民館、図書館の家庭教育支援の取組を中心に紹介する。

第 4 分科会 会場：横浜市民文化会館（多目的ホール）	
テーマ	＜共生社会の実現＞ 年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。
助言者	東京家政大学 教授 白木 賢信 氏
事例発表者	内 容
【神奈川県川崎市】 川崎市教育委員会事務局 生涯学習推進課長 山口 弘 氏	多文化共生社会の実現に向けて ～市民館等における地域日本語教育の取組～
	本市では 1980 年代以来、市民ボランティアの参画を得ながら市民館等において識字・日本語学級を運営してきたほか、多様な主体による地域日本語教育の取組が行われている。取組の成果と課題、共生社会の実現に向けた持続可能な体制づくりについて発表する。
【神奈川県茅ヶ崎市】 茅ヶ崎市社会教育委員 下村 耕一郎 氏	共生社会推進に向けて社会教育施設ができること ～誰もが活用しやすい公民館を目指して～
	「障害児・者が自分らしく生きることがするために社会教育施設は何ができるか」をテーマに調査・研究を進めている。「地域とともにある学校」を目指す特別支援学校とタッグを組み、地域のニーズをもとに、共生社会推進につながる新講座を企画・実施した。

第 5 分科会 会場：かながわ県民センター（ホール）	
テーマ	＜地域学校協働活動＞ 地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をととして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。
助言者	国立教育政策研究所 初等中等教育研究所 部長 藤原 文雄 氏
事例発表者	内 容
【新潟県見附市】 見附市社会教育・スポーツ推進審議会委員 江田 隆行 氏	社会教育委員がつなぐコミュニティ・スクールと地域学校協働活動 ～新潟県見附市立見附中学校での取組～
	見附中学校生徒会発案の「みちゅまいも（サツマイモ）」の栽培、収穫、販売等の活動への支援を通して、商店、住宅地、農地のある学区の住民が中学校に集い交流した取組である。社会教育委員としての経験を活かし、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体化するよう取り組んだ様子を紹介する。
【神奈川県真鶴町】 真鶴町社会教育委員会議 議長 奥津 秀隆 氏 他	弱みを強みに！～小さな町の挑戦～
	過疎地域に指定され、地域資源も乏しく少子高齢化が急速に進む小さな町が、町にある資源を有効活用し、ないものは他地域に求めるとともに、コンパクトな規模の町であることを生かして地域を巻き込みながら、弱みを強みに変えて大人も子どもたちも元気に活動する姿を紹介する。

11 開催/参加方法

(1)開催方法について

- ・全体会及び分科会は対面で行います。ライブ配信は行いません。

(2)参加方法について

- ・大会申込みサイトからお申込みください。団体でのお申込みも可能です。

12 その他

- ・今大会では、ご参加いただく皆様の乗用車でのご来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

＜大会に関する問合せ先＞

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会

住 所 横浜市中区日本大通 1 〒231-8588

T E L 045-210-8347

F A X 045-210-8939

受付時間 8:30～17:15 ※土曜・日曜・祝日は休業

活用事例内容	地域団体等	特記事項
世界のボードゲームで遊ぼう	親と子の寺子屋ふれあい自遊塾	中央図書館とふれあい自遊塾の共催事業として、ボードゲームで遊ぶ事業を実施。事業内でイベントに関連する絵本を紹介した。
不登校・ひきこもり改善支援	NPO法人ぜんしん	図書館ボランティア体験(書架整理や本の修繕等)を通して不登校・ひきこもり改善支援を実施した(NPO主催)。図書館は作業場所や修繕する資料を提供。
平和の紙芝居	心をつなぐ紙芝居の会	中央図書館との共催事業として、図書館を会場にした平和に関する紙芝居や絵本の読み聞かせイベントを開催。
大人のおはなし会		福祉会館事業に共催し、地域の60歳以上の方を対象に、紙芝居や絵本の読み聞かせを行った。[南図書館]
リサイクル本の提供	小・中学校、保育園、子ども 家、放課後児童クラブ等	除籍した資料を地域の施設、団体に提供し、有効活用した。[北・西・南図書館]
本の修理等の講師派遣	地域の図書館ボランティア	地域の図書館ボランティアからの依頼により、図書館スタッフが講師となる「本の修繕講座」を実施した。[南図書館]
展示	地域サークル、福祉村等	写真サークルが撮影した写真を館内に掲示したり、福祉村の作品を展示した。[北・南図書館]
返却スリップの作成	平塚湘風高校	地域と連携した図書館づくりを進めるため、配布する返却スリップのイラストを平塚湘風高校生徒に描いてもらい、利用者へ配布した。[北図書館]

令和 6 年度春期特別展「近代ひらつかの女性たち」開催報告

- 1 会期 令和 7 年（2025 年）3 月 22 日（土）～5 月 18 日（日）（開催期間：50 日）
休館日：月曜日（5 月 5 日は開館）5 月 7 日（水）
- 2 主催 平塚市博物館・平塚人物史研究会
- 3 特別協力 須賀史談会・四之宮郷土史同好会
- 4 会場 平塚市博物館特別展示室
- 5 時間 午前 9 時～午後 5 時
- 6 主旨 令和 7 年（2025 年）は、国際女性年（または国際婦人年。1975 年）の宣言から 50 年となる。そこで本特別展では、平塚人物史研究会との共催で、明治から昭和の時代を自分らしく生き抜いた平塚ゆかりの女性 10 人の多彩な足跡をたどる。平塚にかつて暮らし、活躍した女性たちの紹介を通して、自分らしく生きられる社会を考える機会を提供する。
- 7 展示構成 女性史と出会う／比企キヨ／村井多嘉子／戸倉ヤマ／上原とめ／コラム「ひらつかの伝説上の女性たち」／濱田イシ／盛キヨ子／村井米子／清田華／コラム「近代ひらつかの発展と女性たち」／コラム「地域に生きた女性たちをたどる」／富田レイ／沖津くら／近現代ひらつかの女性史年表

8 入館者	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1 日
	大人	こども	合計			
3 月	1,199	278	1,477	8	18.8%	185
4 月	3,507	1,849	5,356	26	34.5%	206
5 月	1,806	621	2,427	16	25.6%	152
期間計	6,512	2,748	9,260	50	29.7%	185

- 9 関連行事

特別展記念講演会「近代かながわの女性」 会場：博物館講堂
 講師：江刺昭子（ノンフィクション作家・女性史研究者）
 日時：3 月 29 日（土）午後 2 時～3 時 30 分 参加：大人 68 人（自由参加）

特別展展示解説会 会場：特別展示室

第 1 回：3 月 23 日（日） 参加：大人 19 人（自由参加）

第 2 回：5 月 10 日（土） 参加：大人 23 人（自由参加）

プラネタリウム・ミニコンサート「戸倉ヤマの歌の道」 会場：プラネタリウム

出演：鈴木彩（ソプラノ）・進美沙子（メゾ・ソプラノ）・鈴木千帆（ピアノ）

日時：4 月 19 日（土）午後 3 時 30 分～4 時 30 分

曲目：第一部 明治時代初めて作られた子どものための唱歌の数々

第二部 日本人による初のオペラ「オルフォイス」（グルック作曲、

現題「オルフェオとエウリディーチェ」公演で戸倉ヤマと三浦環が演じた二重唱とオルフォイスのアリア「百合姫うしなひ」

を上演時の日本語訳詞で歌唱。

参加：大人 45 人、こども 2 人（事前申込）

星空音楽館「ギリシア神話の世界」 会場：プラネタリウム

日時：4 月 20 日（日）午後 3 時 30 分～4 時 20 分 参加：41 人

関連展示「ジェンダー平等のあゆみ」 会場：平塚市博物館特別展示室前

企画：平塚市人権・男女共同参画課

会期：3 月 22 日（土）～5 月 18 日（日）

10 印刷物

図録「近代ひらつかの女性たち」

A4 判 120 頁 カラー 1,300 部 頒布価格 ¥600

開催期間内頒布部数：306 部

ポスター B3 判 カラー 500 部

ちらし A4 判 カラー 5,000 部

11 準備会議

特別展の企画立案・図録作成・図録校正・展示準備・反省会のため、平塚人物史研究会・須賀史談会・四之宮郷土史同好会の会員と担当学芸員とで、下記のとおり通算 23 回の会議を重ねた。

令和 6 年	1 月 28 日	2 月 3 日	6 月 21 日	7 月 31 日	9 月 13 日	9 月 25 日
	10 月 4 日	10 月 20 日	10 月 30 日	11 月 7 日	11 月 12 日	11 月 27 日
	11 月 28 日	12 月 4 日	12 月 12 日	12 月 17 日		
令和 7 年	1 月 8 日	1 月 17 日	1 月 23 日	2 月 5 日	2 月 14 日	3 月 5 日
	6 月 1 日（反省会）					

12 担当者評価

今回は、当館初の女性に焦点を当てた展示である。女性史・人物史では平塚人物史研究会がすでに研究成果を持っており、同会と共催することで同会の情報や人脈を活かした内容の濃い展示とすることができた。また、地域で活動する郷土史研究団体である四之宮郷土史同好会・須賀史談会に特別協力をいただいたことも地域に密着した地域目線からの展示にすることができた。これらにより本特別展で平塚市の歴史についての新たな知見を市民に提供できたと考える。アンケートでは、地域で活躍し現代平塚の礎を築いた女性たちの存在を知って誇りを感じ、励みになったというような女性からの記述が多くみられた。本年は国際女性年 50 周年にあたる女性の社会的地位向上に向けた関心が高まるなかでの展示であり、人権・男女共同参画課に関連展示を企画してもらったことなどもあって、女性の地位向上やジェンダー平等についての啓発にも寄与できたと考える。

アンケートの結果

回収枚数 99 枚

回答者の住所 平塚市内 52 人、県内平塚市外 29 人、神奈川県外関東地方 6 人、関東地方以外 2 人
(n=89)

回答者性別 男 36 人、女 54 人、
(n=90)

回答者年齢	小学生		中学生		高校生		大学生	
	5 人		1 人		0 人		3 人	
	～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
	9 人	1 人	4 人	5 人	20 人	24 人	20 人	11 人

情報の入手先 広報ひらつか 38 人、博物館のホームページ 12 人、あなたと博物館 8 人、新聞等 12 人、
(複数回答可) ポスター 1 人、口コミ 11 人、SNS 2 人、その他 19 人
(n=65)

おもしろさ 興味ぶかさ	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	52 人	30 人	11 人	1 人	1 人
	54.7%	31.5%	11.5%	1%	1%
	(n=95)				

難 し さ	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	48 人	23 人	14 人	3 人	2 人
	53.3%	25.5%	15.5%	3.3%	2.2%
	(n=90)				

総 合 評 価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	63 人	24 人	4 人	2 人	0 人
	67.7%	25.8%	4.3%	2.1%	0%
	(n=93)				

ご感想・ご意見 (抜粋)

- ・梅屋の浜田さん以外は皆良家の子女なんですね。(50 代/男性/市内)
- ・富田先生の園に三才頃より通ってました。1948 年生。(70 代/男性/市内)
- ・隣町(大磯町)と平塚市の社会・文化圏(人のつながり)が重層的であったことが女性たちの生いたちや活動から知られ、興味深く拝見しました。いつもながら、内容情報の濃厚な展示でした (40 代/男性/市内)
- ・家のそばにあった沖津先生には子供の頃家族全員大変お世話になりました。「沖津くらさん」と地域では呼んでいました (女性/市内)
- ・ていねいな資料の集め方で、とても分かりやすかった (70 代/男性/市外)
- ・もっと早くにこの特別展を知りたかったと感じます。(60 代/男性/市外)
- ・女性の活躍を知り嬉しかった。意思をつらぬくことは、男性社会の中大変だったと思う。平塚の歴史を知れたことも良かった。(50 代/女性/市内)
- ・図書館へ来て、ここの外にある表示をみて入ってみました平塚の女性がこんなにすばらしいことをしていたなんて初めて知りました。障がい児とともに学ぶ保育園すばらしいです。私は幼稚園教諭として今

障害児施設で働いているので障がい児と定型発達の子供と一緒に学ぶのが一番だと思います。梅屋の夫亡きあとの経営された方も素晴らしいですね（50代/女性/市外）

- ・平塚で育ったので、出合った方もあり、写真の中に子どもの頃の近所のおばさんの顔があったり、身近に感じて興味深く拝見した。（70代/女性/市内）
- ・たまたま来て、展示をみましたが大変おもしろかったです。特に、村井家の展示がとても良かったです。私も大好きですが、弦斎パンの弦斎さんに大変興味を持ちました。そして、娘の米子さんが女性登山家のパイオニアだったとは！！植村直己さんや田部井淳子さんからのハガキが見られて良かったです。ぜひ村井家の展示を企画して欲しいです。（50代/男性/市外）
- ・江刺先生の指導で女性史の勉強をしました。それまで自分事として意識していなかったことを少しずつ理解するきっかけとなることでした。今回の展示で祖先が大磯の民権運動に関わっていたことも出てきてつながりを一層感じました。（80代以上/女性/市外）
- ・「女性史と出会う」江刺昭子さんの解説が「展示」の意味を説明していて、展示の導入として素晴らしい、これを読むだけでも来館した価値があった。（80代以上/女性/市内）
- ・来館してよかったです。又、何年かに一度定期的に開催して頂きたいと思います。ありがとうございます。（60代/男性/県外）
- ・素晴らしい企画で、女性として嬉しいです。ご担当者様はボーナス 50 億くらいもらってください。（40代/女性/市外）
- ・普段の何気ない生活の中にあるものが先人が奮闘し造り上げてくれたものだということを知れた。私自身結婚出産しこの春から復職するのだが、どのような意思をもって働いていくか、改めて考えるきっかけになった。（30代/女性/市内）
- ・素晴らしい展示でした。他にも滑らしい女性たちがいると思いますので、続編を期待しています。（60代/女性/市内）
- ・地に足のついた展示ですばらしいと思います。土地土地で「生きた」女性たちの活動に頭が下がります。（70代/女性/県外）
- ・月の始めにも拝見しましたが、とても良い展示だったのもう一度伺いました。やっぱり良いです。市立の博物館でのこのような展示は素晴らしいと思います。ご担当者さまはボーナス 60 億円くらいもらってください。（40代/女性/市外）
- ・比企キヨについてどれくらいの資料があるか、見に来ました。キヨが活動した日本キリスト教婦人矯風会（本部・新宿）のスタッフです。その他の女性たちも素晴らしいですが、地元密着の取り上げ方が良いな～と思いました。（60代/女性/市外）
- ・初めて訪れた平塚、町全体、様々な施設の立派さは想像を超えていました。前にもお電話でお尋ねした観光協会の方も親切に博物館までの道を教えてくださいました。期待して参りました「…女性たち」の展示は適切な量の解説で興味深くほどよい学びの機会となりました。ありがとうございます。この先は個々の人物について調べてみたいと思います。比企キヨと村井母娘に特に関心を持ちました。（80代以上/女性/市外）
- ・平塚へ来て 60 年余りになりますが今回見せて頂いて平塚のことを何も知らなかったなと思いました。大変興味深く面白いと思いました。特にオペラ歌手や登山家等有難うございました。（80代以上/女性/市内）
- ・私も幼稚園・保育園の理事として幼児教育に関わる者として大先輩の業績に感服した次第です。平塚市・大磯の幼児教育福祉の歴史又、浜田氏のような梅屋の女性経営者の方の生き様を知って良かったです。

(60 代/男性/市内)

- ・勉強になった説明ボランティアの説明がよくわかりました。(60 代/女性/市外)
- ・藤沢から来ましたが、博物館がこのような企画をたて、市井の女性史活動のこと等素晴らしい組みたて内容を実施されリスペクトです。江刺さんの最初の展示が包括的に示されて、よくその後の展示も理解できました。わざわざ足を運んだかいがありました。いまは、バックラッシュで女性史、女性問題の注視が低調なのが残念です。(50 代/女性/市外)
- ・なかなか陽の当たることの少ない（現在においても）女性の皆様のご活躍を興味深く拝見しました。いつの時代にも頑張っておられる女性の存在に励まされました。できますことなら第二弾を期待しています。(60 代/女性/市内)
- ・村井米子さんという方がいること、平塚にゆかりがあることを初めて知りました。村井さんの著作を読んでみたいと思いました。(マタギの本など) (小学生/男性/市内)
- ・駅前梅屋の歴史を知ることができて良かったです。ありがとうございます。(50 代/男性/市内)
- ・字が小さいので長文を読むのに疲れる。‘女性‘とあるが、やはり夫の影響を感じられる。秦野での企画展のほうがりわかりやすく、おもしろかった (60 代/男性/市外)
- ・西暦と和暦が併記されているが、西暦のみの展示もあるので統一した方が良いと思います。村井さん母娘は隣どおしの展示のほうが見やすいです。やはり行政に関する資料は豊富にあると感じました。昨年はだの歴史博物館でも女性史の企画がありましたが、焦点が絞られていて見やすかったです。(60 代/男性/市外)
- ・今回紹介された女性は初めて知る人ばかりで（村井弦斎は知っていましたが、妻の多嘉子は知りませんでした）当時これほど強い意志を持って自分の生き方を貫き社会に貢献した女性たちが地元平塚にいたことを知れてよかったと思います。地域の女性史の研究がこれからも続き若い人にも知られてほしいと思います。同行した夫も高校生の息子も興味津々で見入っていました。(40 代/女性/市内)
- ・とてもわかりやすかった「女性年」と特別にしないでいい世の中をめざしたい。(70 代/女性/市内)
- ・婦人団体が戦争に加推（または援護）してきたとあったが戦争反対すること自体が記録として残らない、または公にできない事情があったのではないか (60 代/女性/市内)
- ・続き（戦後編）をぜひお願いします (60 代/女性/市内)
- ・江刺先生の講演会ありがとうございました。神奈川県的女性たちの歴史をおってのお話しとても興味深く聞かせていただきました。もっとくわしく知りたい部分もありました。(50 代/女性/市内)
- ・説明文が遠く読みづらい為か女性たちの活躍ぶりが伝わらなく残念 (60 代/女性/市内)
- ・平塚で生まれ、平塚に住んでいますが、平塚のことを知らない事がたくさんあります。これからも平塚のことを教えて下さい。(60 代/女性 /市内)
- ・前に退職公務員の研修会で講演を聞きました。わかりやすく 75 歳の私でもよくわかりました。ありがとうございます。(70 代/女性/市内)
- ・どの方も皆行動力と信念がありその活躍のおかげで今があるのだと感銘を受けた。知らないことばかりで勉強になり、企画に感謝します。(市内)
- ・平塚らいてふによる女性運動は有名だが、それ以外に活動している人がいるのは知らなかった。大学では北欧を専攻しているため、日本（平塚市）との比較を通して新たな発見をできた。(大学生/女性/市外)
- ・美術館とどちらをみようか迷ってこちらに来ました。大変興味深く拝見しました。(50 代/女性/市外)
- ・元平塚住民（現二宮）です。平塚市のことを全くといっていいほど知りませんでしたが、こんなにも素敵な女性がいらっしやったことに驚きました。富田レイ先生についてみに来ました。省三先生が亡くなら

れたあと厳しい状況の中、夫の使命を引き継いで下さったからこそ私達が働けていると考えると胸が熱くなりました。誇りに思います。その時代にしかも女性という立場でどんなに苦労したことか…。でも子どものために保育が大切だとその時代に女性代表でつくり上げてとても素晴らしいと感じました。高村保育園の旧園舎の造りは子どもの想像力を発揮できる可能性が広がるおもしろい園だったのだなと写真を見て懐かしく思いました。凹みのスペースに入ったことがありましたが、あのスペースは現園舎にはない子どもがワクワクした造りだったのだとしみじみ感じました。これからは誇りをもって給食を作っていきます。このような機会を作っていただきありがとうございました。(50代/女性/市外)

- ・私はこの記事を目にしまして拝見したいと思っていました。この平塚の地に女性の方々のご活躍がありました事、数人は理解しておりましたが高齢になった今、とても皆様方に勇気を頂いています。特に沖津くらは祖母、母が往診にと救っていただきました。子供ながらに記憶しています。ありがとうございました。(70代/女性/市内)
- ・平塚市に当時女性の社会進出が白い目でみられかねない時代に活躍した女性がこれほど存在したことを全く知らなかった。このまま歴史に埋もれ忘れられてしまうところを、関係者から聞き取り、残してくれる研究活動をしてくださった研究会の皆様ありがとうございました。(30代/女性/市内)

プラネタリウムミニコンサート「戸倉ヤマ歌の道」アンケートの結果

回収枚数 4枚

回答者の住所 平塚市内 4
(n=4)

回答者性別 男3人、女1人、
(n=4)

回答者年齢 (n=4)	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	0人	0人	0人	0人	1人	1人	2人

情報の入手先 広報ひらつか1人、博物館のホームページ1人、あなたと博物館1人、知人から1人

ご感想

- ・全般的に良好でした (70代以上/男性/市内)
- ・平塚に縁のある方の話と歌でとても良かったと思います。オペラの歌の日本語とイタリア語の対比もめったに聞く機会がないので興味深く楽しかったです。(50代/女性/市内)
- ・生はいい。(60代/男性/市内)
- ・ありがとう！(70代以上/男性/市内)

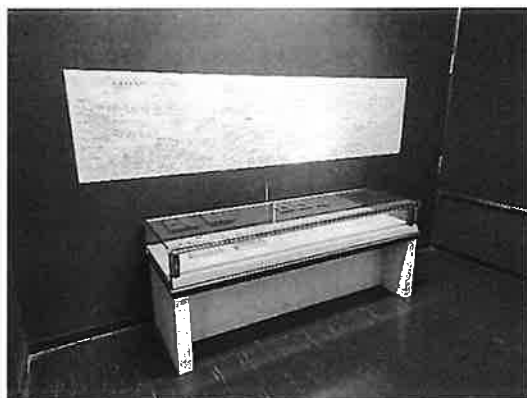
(担当：早田)



展示エントランス



近代現代平塚女性史年表・アンケート



女性史と出会う



展示室の様子



展示室の様子



展示室の様子



共催・特別協力団体刊行図書 地域女性史関係図書閲覧コーナー



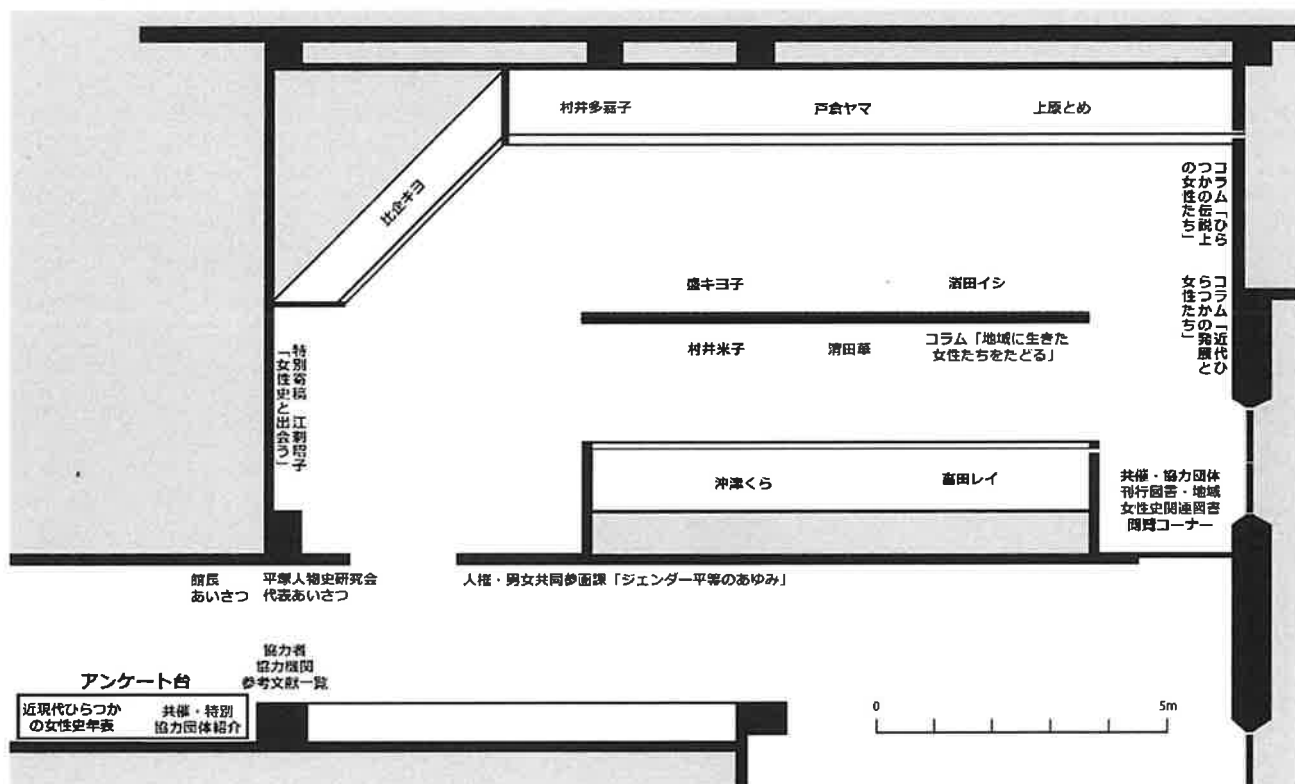
関連展示「ジェンダー平等のあゆみ」



特別展記念講演会「近代かながわの女性」



特別展展示解説



展示平面図

令和 4（2022）年度夏期特別展「野鳥愛」開催報告

会 期 2022(令和 4)年 7 月 21 日(木)～9 月 4 日(日)

休館日：月曜日

主 旨 平塚は、県内でもトップクラスに多くの種類の野鳥が観察される場所として知られているが、残念ながら、現在野鳥は市民にとって必ずしも身近な存在とはいえない。一方、野鳥への関心は高く、鳥について知りたいという要望は多い。この展示では多くの剥製や写真、バードカービング作品をきっかけに、市内に多様な野鳥が生息することを知ってもらうことで、鳥について知ってもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的とした。平塚を中心に長年野鳥観察を続けている市民グループ「こまたん」の活動を紹介することで、鳥や自然との適切な距離感を知ってもらい、写真やバードカービングといった作品に注目されがちなものが、深い野鳥への愛と観察に基づいていることを紹介した。さらに、今からおよそ 90 年前の平塚での鳥にまつわるエピソードを紹介することで、今と昔の環境の違いについて想起してもらうとともに、身近な自然に対する愛情を喚起するよう展示した。

展 示 構 成 平塚の野鳥写真展／ずらっとリーはく製大集合ー／こまたんと生物多様性調査／遠藤勇のバードカービング／作家・中勘助と平塚の鳥

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1 日
	大人	こども	合計			
7月	1,760	920	2,680	10	34.3%	268
8月	4,931	2,175	7,106	26	30.6%	273
9月	726	187	913	4	20.5%	228
期間計	7,417	3,282	10,699	40	30.7%	267

(参 考)

R3 春	5,346	1,775	7,121	44	24.9%	162
R3 秋	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153
R3 夏	5,724	2,396	8,120	45	29.5%	180

関 連 行 事

こども展示解説「はくぶつかんで鳥を見よう」
 開催日：①7 月 21 日(木) 参加：大人 5 名、子ども 10 名
 ②7 月 23 日(土) 参加：大人 7 名、子ども 9 名
 体験学習「とりの手羽先骨格標本を作ろう」
 開催日：7 月 27 日(水) 参加：大人 10 名、子ども 18 名
 特別展示解説
 講師：岡根武彦 開催日：8 月 6 日(土)
 参加：大人 13 名、子ども 1 名
 記念講演会「野鳥とともに 40 年ーこまたん流野鳥との付き合い方」
 講師：こまたん 開催日：8 月 21 日(日)
 参加：大人 44 名、子ども 5 名
 特別講座「鳥の羽根の魅力」
 講師：藤井幹(日本鳥類保護連盟) 開催日：8 月 27 日(土)
 参加：大人 46 名、子ども 6 名

印刷物 図録「野鳥愛」

A4判 80頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥500

開催期間内頒布部数:292部

(参考) R3 夏:278部、R3 秋:571部、R3 春 202部

ポスター B3判 カラー 400部

リーフレット A4判 カラー 5000部

ワークシート「とり探し」と A6判 8種類 カラー 3000部

「しづかな流」リーフレット(2種) A5判 4ページ 白黒 600部

アンケートの結果

回収枚数 100枚

回答者の住所 平塚市内 60名、平塚市外神奈川県内 22名、神奈川県外5名
(n=87)

回答者性別 男 18名、女 26名、
(n=44)

回答者年齢	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
(n=97)	18名	8名	7名	19名	14名	10名	21名

情報の入手先 広報ひらつか 18名、博物館のホームページ 8名、あなたと博物館 6名、
(複数回答可) SNS 3名、新聞等 9名、ポスター 19名、口コミ 4名、その他 44名
(n=98)

おもしろさ 興味ぶかさ	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
(n=99)	85名	12名	2名	0名	0名
	85.9%	12.1%	2%	0.0%	0.0%

難し さ	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
(n=99)	76名	17名	4名	1名	1名
	76.8%	17.2%	4%	1%	1%

総合評価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
(n=128)	85名	11名	2名	0名	1名
	85.9%	11.1%	2%	0%	1%

ご意見・ご感想

・展示が多く、見やすく配列されていていつもどおりすばらしいです。解説も大人にも子どもにもわかりやすくとても良いです。いつもありがとうございます。(50代)

・120羽のハクセイの鳥は圧倒された。(80代)

・鳥のことをよく知らない私も楽しめました。またぜひおねがいします。(中学生・女)

・いろいろはなしながら学校で習ったことをふりかえることもできて中学校(中1)のふくしゅうになりました。(中学生・女)

・いろいろな鳥のことをおしえてくれたり、その鳥のエピソードとかが聞けて楽しかった。(中学生・女)

・ふだん見かけてもじっくり見れないのであらためて大きさやこまかい部分もじっくり見ることができよかったです。展示としてはむずかしいとおもいますが、なき声についてもおしえていただけるとよりよかったですと思います。可能であれば、HPなどのしょうかいでもいいかと思います。ありがとうございました。(50代・男)

・鳥さがシートのクオリティがとて高い！！と大感動しました。ぜひハガキにして販売していただきたいです。(60代・女)

・野鳥の観察に興味があり伺いました。観察する上で留意すべきこと、鳥の暮らしを守るために人間ができることを知ることができ、とても有意義でした。貴重な資料を多く集めて開催くださいましてありがとうございました。(40代・女)

・平塚にこんなにたくさんの野鳥がいるなんて知りませんでした。よく鳥を見かけた時に何ていう鳥だろうと思っていましたが、名前が分かってよかったです。(20代)

・分かりやすく勉強になりました。係の方が分かりやすく説明をして下さりよかったです(8/6)クイズの鳥さがシートは色々なとりがいてむずかしかったですが楽しかったです！たのしかったです。(40代・女)

・鳥が好きなのでたのしみにしてました。ハクセイ等興味深くみることができました。各鳥の生態についてもっと解説があると尚よかったですと思います。(40代)

・よく観察してみると科ごとにくちばしの形が違ったりして発見があって面白かった。(専門学校・大学生)

・たくさんの剥製があったので実際の大きさがわかりやすかった。岡根さんの写真も素晴らしく、楽しめました。カービングはかわいいグッズになっていたら…とか、家に飾りたかったです。家の近くにもたくさんの野鳥がいるので自然を大事に守りたいと感じました。(40代)

・たまたまプラネタリウムの帰りに寄らせていただきましたが、子どもが「このかおだれのかお？」をととても楽しんで気がつけば1時間ほどじっくりと見させていただきました。ふだん野鳥の顔をじっくり見たことがなかったのでとても楽しかったです。ありがとうございました。

(40代・女)

・子ども達が夢中になって鳥の名前クイズをしていました。とても良い事だと思いました。夏休みのいい経験です！鳥について親切、ていねいにご説明して下さりありがとうございました。(50代・女)

・野鳥が好きになりました！ヤマセミの頭の爆発が面白い！(20代・男)

・とりがすきなので見にきました。(小2・女)

・三脚を使わずに鳥たちを撮る、話しかけながら撮る、これって「動物写真家」の岩合さんと同じ考えですね。お二人の顔は似ていなくても、雰囲気はどことなく似ていますね。(70代・女)

・二宮野鳥の会会員。とても多種にわたりよく集められて感心しました。写真のとり方等大変参考になりました。(70代)

・鳥の模型がリアルでとてもかわいいと思いました。観察した野鳥の表も分かりやすかったし、それだけのやチュを観察しているのもすごいと思います。カルガモの親子の写真が印象にのこりました。私もカルガモの親子を見たことがあるけれど、その1回だけなのに、あんなに可愛くてフワフワのヒナを撮れるのはすごいと思いました。平塚に野鳥が多いのは知っていたけれど、私の知らない野鳥の方が多くて、驚きました。岡根さんの撮った写真で偽傷がすごいと思いました。私も偽傷の話は知っていたけれど、あんな風に1コマずつていねいに撮っているのもすごいと思いました。(小6・女)

・鳥の顔を当てるクイズがとても難しかったです。(専門学校・大学生・女)

- ・とても面白かった。平塚でこんなにたくさんの種類の野鳥が見れると思ってなかったし、いろんな特徴、性格、サギ1つとっても複数種いるのが知れて興味深かった。写真もとてもきれいでした。(40代)
- ・あまり鳥に興味ありませんでしたが、様々な種の鳥が平塚にいたことがわかり、日常でも注意して見てみようと思いました。すばらしい展示でした。常設してもよいと思います。展示タイトル、ポスターデザインがすばらしいです。(40代)
- ・こどもがうまれてそとにあるいて自然に目をむけるきかいができました。ココでとりについてハトかな??でおわっていたのが、この鳥は〇〇だよ。といえるとお互いにしげきがあり良いと思いました。(30代)
- ・遠藤さん素晴らしい。写真に撮らせてもらいましたよ。魅了されました。友人でカービングの方が何人かいますので素晴らしさが少し分かります。岡根さんの写真も素晴らしかったです。有難うございました。(80代・男)
- ・バンがおもしろいくちバシ。(幼児)
- ・岡根氏の解説を拝聴しました。控えめながら大きな野鳥や自然への愛を感じました。これからも子ども達や若い世代の自然との共存の大切さ、伝えていってほしいと思いました。(40代)
- ・タイトル通り「野鳥愛」を感じる展示でした。会場にいらした岡根さんのお話を伺えたのも楽しさ倍増でした。(50代・男)
- ・岡根さんのあたたかみのある解説がすてきでした。鳥との向き合い方を考えさせられました。当日(お名前のみ存じ上げておりましたが)ご本人にもお会いでき感激でした。(40代・女)
- ・これだけ数のそろったハクセイははじめてです。直接岡根氏とも話が来て、これからは鳥への愛を感じながら見守り続けて行きたいと思います。(50代・女)
- ・写真家の方のコメントが面白いのが多かった。営巣の写真を撮らないように、という他のボード写真愛好者への提案?意見もよいと思います。(60代・男)
- ・小鳥達が話しかけてくれる様でとても楽しかった。こまたんは素晴らしいネ(70代)
- ・鳥の生態や携帯のことについてよく分かる展示だった。トウネンの写真が可愛らしく、また、フクロウの写真がオオタカの写真の下に撮った際のエピソードが書かれており、その瞬間がよく分かるものだった。(20代・女)
- ・岡根さんにたくさんおしえていただき、とてもたのしめました。まさに「野鳥愛」にあふれる展示でした。チラシもカードのイラストもとてもすてき!
- ・鳥さがシートが本当に難しかったです…でも何度も展示を見るきっかけとなったので楽しくまわれました。(30代)
- ・鳥の声が聞けず残念でした。(50代)
- ・野鳥、、、むずいな〜。(小4)
- ・とても素晴らしい展示で、長年に渡って撮影されて来た成果だと思います。これからも定期的に展示してまた楽しませて下さい。(30代・男)
- ・写真を撮られた岡根さんのお話が聞けてとても楽しかったです。「このかお、だれのかお?」も全て教えていただきました。ありがとうございました。野鳥に出会ったら、やさしく話しかけてみようと思います。(50代)
- ・サンコウチョウのおがものすごく長かった。(小2・男)
- ・野鳥が好きなのでとても楽しめました。多種類の鳥が平塚にいたことがわかりましたが、「トキ」の例を思うと、フクザツな気持ちになります。(50代)
- ・通勤中に川や田んぼにいるサギを見るのが好きです。平塚には色んな鳥がいるのもなんとなく知っていたが、こうしてまとめて展示していただいて、改めて自然の多い所に住んでるなと思いました。並べられたはくせいは壮観で、「カモだ」「スズメかな」位の認識だった鳥が、全然ちがったり、細かく分類されたり、とても見ごたえがあり、面白かったです?見に来て本当に良かったです。(20代・女)

平成 25 年 春期特別展「水と生きる里 金目の風土とその魅力」開催報告

会 期 平成 26 年 3 月 15 日（土）～5 月 11 日（日）

休館日：月曜日（5 月 5 日は開館）

主 旨 平塚市北西部に広がる金目地域は、多様な自然と、長い歴史を有している。また、この地域は実り豊かな農業地域でもあるが、これは地域の名を冠する金目川の恵みを受け、またはこれとの戦いのなかで先人が作ってきた特徴といえ、地域の自然もこの川に大きく規定されている。そこで、本特別展では、地域を理解する切り口のひとつとして金目川をはじめとする「水」に着目し、金目地域の個性、魅力を紹介していきたい。

また、本特別展は、エコミュージアム金目まるごと博物館と平塚市博物館の共同企画である。エコミュージアム金目まるごと博物館は、平成 19 年度の創立以来、地域の人々の手で、地域を調べ、学び、楽しみ、「まち」づくりをめざしてきた。本特別展は、これまでのエコミュージアム金目まるごと博物館の成果を活かし、地域の人々の手による地域の価値創造に向けた活動の契機にするとともに、地域の人々による「地元学」の実践例を提示することも目的とする。

展 示 構 成 第 1 章 水と人との歴史／第 2 章 水をめぐる人の絆と知恵／第 3 章 水がつくる自然／第 4 章 水と土のめぐみ／第 5 章 水のある暮らし

展 示 点 数 実物資料 71 点、写真パネル 166 点、図表パネル 27 点、模型 3 点

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1 日
	大人	こども	合計			
3 月	1598	417	2015	14	20.6%	143.9
4 月	2849	755	3604	26	20.9%	138.6
5 月	2404	1913	4317	11	44.3%	392.4
期間計	6851	3085	9936	51	31%	194.8
24 年度			11422	45	%	253.8

くらしの今昔－電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち(10/20～12/24)

関 連 行 事

特別展展示解説

- ① 3 月 15 日（土） 12 時 45 分～13 時 45 分 （参加 20 名）
- ② 5 月 6 日（火） 12 時 45 分～13 時 45 分 （参加 6 名）

特別展記念講演会「田園都市構想と民権」

3 月 22 日（土） 13 時 30 分～15 時 （参加 46 名）

金目ウォーク

3 月 29 日（土） 10 時～15 時 （参加 7 名）

特別展記念講演会「一枚の古文書から郷土史を読み解く」

4 月 5 日（土） 13 時 30 分～15 時 （参加 40 名）

金目の「食」を味わおう

4 月 12 日（土） 10 時～13 時 （参加 31 名）

生きもの観察会

4 月 20 日（日） 10 時～12 時（雨天中止） （参加 23 名）

子ども自然観察クイズラリー

4 月 26 日（土） 10 時～12 時 （参加 84 名）

どんぐりクラフトづくり

5月6日(火) 10時～12時・13時～15時

(参加 282 名)

印刷物 図録「水と生きる里 金目の風土とその魅力」

A4判 64頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥1000

ポスター B3判 カラー 500部

リーフレット A4判 カラー 2000部

アンケートの結果

有効回答数 75枚

回答者の住所 平塚市内 53、平塚市外神奈川県内 15、神奈川県外関東地方 4、関東地方以外 2

回答者性別 男 37、女 38、

回答者年齢	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	16名	4名	4名	6名	7名	17名	21名

情報の入手先 広報ひらつか 25名、博物館のホームページ 4名、新聞等 4名、ポスター 2名、その他 33名

(複数回答あり)

おもしろさ	とてもおもしろい	ややおもしろい	ふつう	ややつまらない	つまらない
	40名	23名	11名	0名	0名

総合評価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	36名	30名	6名	2名	0名

興味を持ったところ

- ・ 水害の多い事
- ・ 里山
- ・ 見近な川というだけだった金目川にも様々な人と歴史があるとわかった。
- ・ 川べの野鳥！
- ・ 動物のはくせい
- ・ 金目地区の水に関すること
- ・ 第2章水と人の歴史水をめぐる人の絆と知恵
- ・ 金目の食文化 水と生きる里
- ・ 講義がとても良かった 食事おいしかった
- ・ 水がつくる自然
- ・ 金目の食とてもおいしくいただきました。
- ・ ・金目川の水源について、苦労されたこと ・〃の活用について
- ・ 金目川の歴史、水害との闘い
- ・ 災害や地形の変化

- ・ 川を中心とした生活風景
- ・ いろいろな生き物がいて、きれいな水の大切さについて改めて感じた。手作りの地図がもらえるとうれしかった。細かくてとても楽しい地図でした。
- ・ 自分の生れ育った場所を今迄良く知らず参考になりました
- ・ バラの形をしたまつぼっくり。
- ・ 竹トンボ
- ・ 入口に古い民家見た
- ・ どじょうをはじめて見ました
- ・ いつも散歩する川辺の歴史を見ることが出来ました。平塚に住んで 15 年、増々平塚に愛着を覚えます。
- ・ 金目地区の歴史に興味を持ちました。
- ・ 金目の生物や歴史について
- ・ 金目地区資源マップ
- ・ 金目川の歴史や使われなくなった水門があることなど…。実際に魚を展示したのはイイアイデアだと思う。
- ・ 絵地図、良く書きました。5000 年前、金目近くまで海だった。故に丸島や岡崎などの地名が残る
- ・ 徳川家康のお宝が実際に拝見できたのはとても面白いです。
- ・ 金目川の由来が分った。昔からの流れに興味あった。
- ・ 岩石、川の流れ 立体地図

感想、自由記述

- ・ 歴史、自然（生物・地形など）、民俗の分野から、平塚の一農村を取り上げるという展示で非常に多くの発見がありました。自分も先祖代々金目地域に暮らしていますが、そういった地元の歴史等がこうして明らかにされ、改めて地元の土地を見直す機会にもなりました。知っている人の名前が各所にみられるのも地元ならではの。私も今後はこのような「郷土」を再考させられるような企画を考えていきたいと思います。
※北金目にあった一本橋に「タコ橋」と名前がついていたような気がします。たしか私が小学生のころまで遊んでいた記憶が…
巡回展で金目公民館あたりでも開催していただけたら、お年寄りが足を運べてまた様々な思い出話が聞けるのではないのでしょうか？（貴重な資料は除いてパネル展でも既に企画済みだったら申し訳ありません）
- ・ 小学生も少し興味が持てるような方法は出来ますか？
水と生きる里ということで子どもの頃体験したことで
下河原 海も遠かったので水遊びを通し先輩後輩の社交場でした。
（新川広川）シジミがとれました。水がきれいでした。
親水公園 芹・クレソンの宝庫、南金目たんぼ、ドジョウ・ウナギがいました。金旭中学校では自由な時間に金目がわをせき止め、魚とりをさせていただきました。今でも懐かしい時間です。
- ・ 金目（青柳）に 27 年間住んでいたのが懐かしいかなと思ったのですが…主人が金目の生まれなので教えてあげたら私と違った思いがあるのではと思いました。
- ・ 初めて博物館を訪問した。展示がとても充実していたので驚いた。
- ・ エントランスの展示が良かった。（棚ドアの中の展示）又、昔の人々の暮らしの展示もしっかりしており、見応えあり。

- ・ 平塚市には市の野鳥の冊子がありません。ぜひ「平塚にどんな野鳥がいるか、という本」作ってください。浜口先生のおひざもとなに残念です。他市にはあります。野鳥の生活を書いた本はいつも利用しています。
- ・ 動物もっと欲しい
- ・ 金目という一地域で、よく調べ、発掘し、区分して、整理したものだと感じます。年月と労力の要る研究活動はしっかりしたリーダーとよき協力者がなければできませんが、この展覧会はそういう人に恵まれたことを示しています。敬服します。
- ・ 数年前、金目エコを立ち上げる話をきいた時、無理だろうという人もいて大変な取り組みなのだと思いますが、こんな立派な特別展をみることができ大変幸せな時がもてました。
- ・ すばらしい！！
- ・ 母親の味を60年ぶりに味わいました　ありがとうございます。
- ・ 4/12 「金目の食」　ごちそうさま！一つ残らずお腹の中に…。　昔なつかしいおふくろの味を満喫しました。準備大変だったでしょうね。
- ・ 金目地区の活動に頭が下がります。見させていただきありがとうございました
- ・ 金目の食文化を平塚市民に伝えるためにも年1回の催しを実施したらよいと思います
- ・ 平塚市内にこんな素晴らしいところがあるなんて改めて発見させられました。皆さまのあたたかい心のこもったお料理　感激です。ごちそうさまでした
- ・ 大変良くまとまりわかり安くて感心しました　しっかりしたリーダーと協力者でまとまりましたね
- ・ 説明文の中で、ひらがなの送り使いがない説明文がある。展示する前に見ているのか。せいで年、（）の数字になぜ年をいれないふしぎ
- ・ 標本やもけいがあるのは良かった。ホタルの幼虫を初めて見た。
- ・ 生き物の展示もお願いします。
- ・ 東京の周辺にもいわゆる”里山”があったんだと驚きました。農家の方のお食事もおもしろかったです。
- ・ 春嶽山に植林をしたみずほ小の卒業生です。現地のその後を見る機会もなかったので感慨深かったです。子どものころから親しんできた風景、くらしを見つめ直すことができました。
- ・ 町を（郷土）大切に思う気持ちが、様々なところに感じられて好印象を持ちました。戦後の街づくりの様子も知りたいと思いました。
- ・ ☆金目の「食」を味わおうに参加①漆田氏又里山の講演に感動、自然の恩恵を受け生活したことを思いおこしました。これからは維持管理は大変なことですが、ご健康に十分気を付けられまして、里山の営みを続けてくださることをお願い致します。　☆ふっくら大豆の煮物旬のタケノコ、春の香りいっぱいの根三ツ葉、手間のかかるよもぎ団子とまさに大地の恵みを頂き、我が心身がめざましました。又同じ物を大勢で一緒に食する、最高の幸せでした。心よりお礼申し上げます。
- ・ とても面白く参考になりました。「こゆるぎ」近辺の古来からの歴史をエッセイにしようと思っており、金目の地名、金目川掟など参考になりました。横浜市きぶかわ
- ・ 特別展、良く見にくるけど何時も興味深く拝見している。作成する係員の方本当にご苦労様です。
- ・ エレベータ又はロッカールーム室あると良い。対話のサロン学術図書図面地図海底火山プラネタリウムとシアター室、又はCG　ビデオ室　古代の歴史景観　話しができるの良い

学芸員の講師等の派遣（平塚市博物館「年報」49、より一部改変）

令和6年度の講師等学芸員の派遣要請は下表のとおりである。

	実施日	担当	申請者	場所	内容	参加者数
1	4月4日	早田	平塚市役所職員課	市役所研修室	新採用職員研修講師	44
2	4月20日・21日	塚田	(一社)日本天文学オリンピック委員会	平塚市博物館	研修会講師	19
3	6月1日	川端	國學院大學	平塚市博物館	博物館学課程受講生見学実習での館内説明	26
4	6月7日	福田	旭南公民館	旭南公民館	「古写真で見るひらつかの歴史」講師	30
5	6月13日	野崎	平塚市観光協会	市民プラザ	「平塚周辺の大地の特徴と成り立ち」講師	4
6	6月19日	栗山	平塚市小学校教育研究会	教育会館	「鎌倉幕府の創建と平塚」講師	25
7	6月22日	早田	明治大学校友会神奈川県西部支部	JAプレジール	「家康が作ったひらつか—中原御殿とひらつかの地域形成」講師	約100
8		野崎	秦野市	秦野市	「秦野の大地の成り立ち」講師	
9	6月27日	栗山	大原公民館	大原公民館	シニア学級歴史講座「更級日記探訪「光る君へ」の時代の平塚」講師	21
10	7月19日	塚田	真田の子育てサロンつくしんぼ	平塚市北金目	「星空観察会」講師	38
11	7月27日	新宮	富士見公民館	富士見公民館	講座「誰も知らない富士見の歴史」講師	38
12	7月30日	塚田	土屋・吉沢公民館	平塚市博物館	「親子プラネタリウム」講師	27
13	7月31日	早田	平塚法人会	JAプレジール	「平塚宿とその周辺」講師	70
14		塚田 澤村	吉沢公民館	吉沢公民館	「体験！宇宙飛行士選抜試験」講師	6
15	8月2日	藤井	学校事務職員研修会	平塚市博物館	「プラネタリウム投影」講師	47
16	8月8日	塚田 澤村	吉沢公民館	吉沢公民館	「星空観察会」講師	29
17	8月14日	塚田 藤井 澤村	公民館北ブロック	平塚市博物館	「星空観察会」講師	53
18	8月16日	塚田	吉沢公民館	吉沢公民館	「天体模型」講師	雨天中止
19	8月20日	川端	日本女子大	平塚市博物館	博物館学課程受講生見学実習生への館内説明	20
20	8月22日	藤井 澤村	公民館東ブロック	平塚市博物館	「星を見る会」講師	68
21	8月23日	塚田	土屋公民館	土屋公民館	「偏光万華鏡の工作」講師	8
22	9月1日	野崎	弥栄学園	弥栄学園	情報コーナー「ミニ恐竜展 in 平塚市博物館 アロサウルス襲来！」展示解説	8
23	9月3日	澤村	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館	クラウドファンディング実施の講義	30
24	9月11日	栗山	岡崎公民館	岡崎公民館	シニア学級「岡崎四郎所縁の地 衣笠を巡る」講師	32
25	9月20日	新宮	北図書館	北図書館	歴史講座「神田地区の遺跡巡り」講師	15
26	10月5日	藤井	二宮町生涯学習センター	二宮町生涯学習センター	にのみや町民大学講座「天文学に親しもう」講師	30

	実施日	担当	申請者	場所	内容	参加者数
27	10月15日	野崎	弥栄学園	成城学園杉の森館	成城学園杉の森館 恐竜・化石ギャラリー一展示解説	31
28			神奈川県高等学校教科研究会	成城学園杉の森館	成城学園杉の森館 恐竜・化石ギャラリー一展示解説	19
29	10月22日	早田	小田原市	尊徳記念館	おだわら市民学校「二宮尊徳の教えを継承する」神奈川の報徳運動講師	10
30	10月26日	野崎	神奈川地学会	横浜市金沢区	多摩丘陵南部の上総層群の観察会講師	16
31	10月30日	藤井	浜岳中	浜岳中	生き方・命の大切さを学ぶ講演会「学芸員の仕事とこれまでの私について」講師	645
32	11月1日	塚田 藤井	公民館西ブロック	平塚市博物館	「秋の星空観察会&プラネタリウム鑑賞会」講師	66
33	11月6日	栗山	南原公民館	南原公民館	シニア学級「南原いきいき教室」「平塚の古道と南原」講師	27
34	11月9日	浜野	神奈川大学	平塚市博物館	博物館学課程受講学生見学実習生への館内解説	17
35	11月10日	野崎	川崎市青少年科学館	川崎市青少年科学館	サイエンス教室「多摩川の自然～石～」講師	30
36	11月12日	野崎	サン・キッズ平塚ステーション	中央公民館	防災講演 講師	27
37	11月16日	藤井	(一社)遊びの庭	二宮町	にのっこデイキャンプ「星を見る会」講師	雨天中止
38	11月17日	浜野 福田	相模民俗学会	平塚市博物館	相模民俗学会例会での発表「徳本上人ゆかりの大会念仏」「平塚市の回り地蔵」と特別展「お家を回る子育て地蔵」展示解説	19
39	11月19日	早田	小田原市	尊徳記念館	おだわら市民学校「二宮尊徳の教えを継承する」戦時下の報徳運動、教育講師	10
40	12月26日	野崎	平岡幼稚園	二宮町	二宮・大磯の化石観察講師	13
41		塚田	吉沢公民館	吉沢公民館	「火星儀の工作」講師	9
42	1月10日	塚田 藤井	公民館北ブロック	平塚市博物館	「星空観察会」講師	32
43	1月18日	澤村	平塚市観光協会	平塚市民プラザ	講演「商店街に仕掛けられた昭和の謎～七夕星座絵タイルを解く」	15
44	1月19日	浜野 福田	下島太鼓保存会	城島公民館	城島4地区太鼓保存会親睦会における講話および祭りばやし研究会による囃子太鼓の演奏	30
45	1月24日	塚田	吉沢公民館	吉沢公民館	「星空観察会」講師	32
46	2月5日	早田	平塚法人会	JA平塚プレジール	相模川・相模湾の水運と須賀の繁栄	50
47	2月8日	野崎	(一社)日本地質学会 関東支部	池子の森自然公園(逗子市) 朝比奈切通周辺(鎌倉市)	「三浦層群逗子層と池子層神武寺部層の海底地すべり堆積物」観察講師 「浦郷層の斜交層理と火山灰層」観察講師	20
48	2月12日	野崎	全国科学博物館協議会	兵庫県立人と自然の博物館	口頭発表「博物館を拠点とした地球科学分野の探求学習～第22回地震火山こどもサマースクール in 平塚の例～」	不詳
49	2月22日	藤井 澤村	そうぜん父の会	平塚市博物館	「星空観察会」講師	71
50	3月29日	野崎	平塚防災まちづくりの会	二宮町	二宮の地層観察・博物館内見学対応	31
合計：2,025						

委員・役員等の派遣

令和 6 年度の委員・役員等の派遣要請は下表のとおりである。

	実施日	担当	申請者	内容
1	5 月 10 日	浜野 新宮	神奈川県博物館協会	令和 6 年度第 1 回役員会・総会へ出席
2	7 月 19 日	浜野	神奈川県教育委員会	平塚江南高等学校スーパーサイエンスハイスクール 令和 6 年度 SSH 成果発表会、令和 6 年度第 1 回運営指導委員会出席
3	9 月 18 日	浜野	茅ヶ崎市博物館	茅ヶ崎市博物館協議会へ委員として出席
4	11 月 1 日	浜野	神奈川県博物館協会	令和 6 年度第 2 回役員会へ出席
5	3 月 24 日	浜野	平塚江南高等学校	平塚江南高等学校スーパーサイエンスハイスクール 令和 6 年度 SSH 成果発表会（共創探求 I 中間発表会）出席
6	3 月 26 日	澤村	相模原市立博物館プラ ネタリウム投影等業務 委託事業者評価委員会	相模原市立博物館プラネタリウム投影等業務委託事業者評価 委員会出席

事業の目的

「対話による美術鑑賞」は平塚市内の小学生を対象として実施する学校連携事業のひとつです。対話型の鑑賞方法(後述)を用いて、子どもの観察力や思考力、表現力をはぐくむとともに、子どもたちが美術作品に触れ、美術館で鑑賞を体験することを通じて、美術と美術館に親しんでもらうことを目的としています。

学校の授業と美術館での作品鑑賞

主な活動内容は小学生と美術作品の鑑賞をすることです。具体的には2日間のプログラムになっていて、1日目は学校での事前授業、2日目は美術館で実際の作品を鑑賞する来館授業というふたつのパートに分かれています。

事前授業では、アートカードやポスター図版などの複製を使用し、手元に近づけて見たり、大きなサイズの絵をグループで一緒に見ます。小学生にとってホームとなる学校で、まずは作品を見ることに慣れ、思ったことを言葉にし、そのおもしろさに触れてもらっています。

2日目は美術館で鑑賞します。小学生は学校でやってみた方法を使って実際の作品をグループで鑑賞し、最後に自分ひとりで鑑賞する時間も設けています。

非日常の場所と本物の作品に触れ、近づきがたかったものが、親しみもてる場所、大切なものとして残ることを期待しています。

鑑賞の方法(VTS)

鑑賞の方法として、1980年代にニューヨーク近代美術館で開発されたVTS(Visual Thinking Strategies)を採用しています。いわゆる対話型の鑑賞方法のひとつです。この方法は、基本的に美術に関する知識は不要です。少人数のグループで作品を見て、それぞれが思ったこと、感じたことを言葉にしていくことを通じて、その作品が見えてくるというものです。

さらに、作品と鑑賞する人の間に立ち、対話を促す役割になるファシリテーターがいます。ファシリテーターは鑑賞する人に対して3つの質問をします。「この絵の中で何が起っていますか? (What's going on in this picture?)」「絵のどこからそう思いましたか? (What so you see that makes you say that?)」「他に発見はありますか? (What more can we find?)」の3つです。

ファシリテーターは繰り返し問いかけ、鑑賞する人の話を聞きます。加えて、発言内容の中心部分(言外に存在する点とともあります)を言い換えたり、発言同士の関連性を伝えたりして、グループにフィードバックしながら対話を活性化させていきます。結果的に鑑賞する人の観察する力、好奇心、内なる感情を引き出し、徐々に作品のもつ魅力に迫っていくこととなります。

ひらびあーつまーれ

この事業の中核を担う参加者のチーム名を「ひらびあーつまーれ」といいます。1年に1回メンバーを募集し、現在、1期生から9期生までの80人が登録しています。少し長い名前なので小学生には個々のメンバーのことを「ひらびーさん」という愛称で呼んでもらっています。

このチーム名は「平塚」「美術館」「集まれ」「アーツ(arts)」などの単語をつなげた造語です。「マーレ(mare)」はラテン語で海を意味し、子どもたちになじみのある平塚のサッカーチーム・湘南ベルマーレにちなみました。

単語が隠されているだけでなく、心をひらいて対話する、深い海のようじく深く考える、たくさんの作品が集まる美術館といった意味も込めています。1期生のひらびーが、これから出会う多くの小学生のことや自分たちの活動内容を想像しながら、じっくりと議論を重ねて決めました。

このとき、ミツバチのキャラクター「ひらびーさん」もつくりました。子どもの言葉を丁寧に聞く様子を、ミツバチがたくさん花から蜜を集める様子に見立てて、このキャラクターになりました。お腹の針の形は吹き出しをイメージしたものです。

事業名	連携対象種別	連携施設・団体	連携内容・特記事項
平塚市電子図書館・学校連携	学校	市内小中学校	市内小中学校の児童・生徒及び教員等に電子図書館Dを発行し、学校で配付されているタブレットで平塚市電子図書館を利用可能とした。
TOKAIグローバルフェスタ2023	その他	東海大学	東海大学TQC(ティーチングクオリフィケーションセンター)司書課程と共同出展
不登校・ひきこもり改善支援	関係団体	NPO法人ぜんしん	図書館ボランティア体験を通じた不登校・ひきこもり改善支援
自殺予防啓発事業	公共施設	福祉総務課	自殺予防啓発のため、関連図書展示・貸出、ポスター掲示、チラシ配架
3館コラボ「ちやいの夏休み」	公共施設	美術館、博物館	美術館、博物館、図書館で開催するイベントを回遊し多様な文化に触れる機会とするため、スタンプラリーを実施
美術館まつりワークショップ	公共施設	美術館	美術館まつりの会場図書コーナー前でおはなし会実施
認知症普及啓発事業	公共施設	高齢福祉課	「認知症関連の本」展示、連携イベントを図書館を会場に開催し、図書館職員による関連絵本の読み聞かせ
リニア関連	公共施設	文化・交流課	リニア開通期間中に中央図書館各フロアで関連資料展示。カウナス市との友好都市提携に合わせ資料展示
創業するなら平塚で～ビジネス支援～	公共施設	産業振興課	起業関係の資料展示。産業振興課からパンフレットの提供。平塚信用金庫主催起業家セミナーで関連資料の紹介、雑誌スポンサーのPR
男女共同参画	公共施設	人権・男女共同参画課	男女共同参画週間に合わせ資料展示。連携課で中央図書館を会場にパネル展示、リーフレット配布
ブックスタート	公共施設	健康課、保育課	保健センターやこんにちは赤ちゃん訪問でチラシ配布。保育課イベントでチラシ配布。ボランティア研修に保健師、保育士による講義
平和の紙芝居	関係団体	心をつなぐ紙芝居の会	図書館を会場に団体によるイベント開催。広報や当日会場設営等
東海大学生のおすすめ本	その他	東海大学	東海大学生が平塚市図書館に所蔵がある本を紹介するPOPを作成し、図書館資料と合わせて展示
子育てサロン	その他	とよだ子育てサロン	当日会場で利用する絵本の貸出
インターンシップの受入れ	その他	東海大学	司書課程履修中の学生の受入れ

事業名	連携対象種別	連携施設・団体	連携内容・特記事項
3館コラボレーション事業	公共施設	図書館、美術館	各館の夏イベント共通点から「ちやいろの夏休み」というテーマを設けたスタンプラリー
講師派遣等要請事業	公共施設、学校、関係団体、その他	市内公民館、図書館、美術館、小・中学校、高校、大学、社会福祉協議会、県内教育委員会、読売KODOMO新聞、各種関係団体等、41団体	各種講座の講師、取材協力等
社会体験研修受入事業	学校	岡崎小学校、鶴巻小学校	教員による鳥の手羽先骨格標本作体験(生物)、教員による宇宙飛行士選抜試験体験(天文)など
博物館実習受入事業	その他	神奈川大学ほか8大学	近隣、受入実績のある大学へ実施要綱送付後依頼を受け7日間の教育普及、展示制作実習
職業体験実習受入事業	学校	市内中学校、近隣高校10校	生徒による各種体験体験(天文、考古、地質、生物、歴史、市史)
学術グループ活動事業	関係団体	神奈川県植物誌調査会湘南ブロック、神奈川キノコの会	神奈川県の植物相解明目的で活動し会員30名が定期的に資料整理し博物館に寄贈 神奈川県のキノコ類の観察調査目的で市とその隣接地域で収集の標本を整理し博物館に寄贈
プラネタリウム幼児投影事業	その他	近隣幼稚園・保育園等53園	園児・教師によるプラネタリウム投影観覧
プラネタリウム学習投影事業	学校	県内小・中・高校22校	プラネタリウム投影観覧
プラネタリウム投影事業	公共施設	金目公民館、豊田公民館	プラネタリウム投影観覧(公民館事業)
教育普及活動事業	公共施設、学校、その他	近隣保育園、小・中・高・大学等36団体	園児・児童・生徒・学生・教員等による館内見学

事業名	連携対象種別	連携施設・団体	連携内容・特記事項
3館コラボレーション事業	公共施設	中央図書館・博物館	来館者が3館を回遊しながら新たな発見をしたり教養を豊かにできるよう実施する。
対話による美術鑑賞事業	学校	市内小学校 8校	市内小学校と連携し美術作品に親しむことで、鑑賞力を高めながら気軽に美術館を利用できるよう事業を実施する。
対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	その他	ボランティア(ひらびあーつま〜れ)	対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあーつま〜れ)を育成し、対話による美術鑑賞の実施に協力いただいている。
団体向け研修・体験プログラム	その他	市内内外の各種団体 6団体	来館時に開催中の展覧会を観覧、レクチャーを実施している。(コロナ禍以前は市内公民館事業による観覧を受け入れていたが、コロナ禍以降は実績なし。)
中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ	学校		教員の5年時研修を受け入れている。(令和6年度は希望なし)
中学生職場体験の受け入れ	学校	市内中学校 6校	市内中学校の職場体験を受け入れている。
高校生インターンシップの受け入れ	その他	近隣の県立高校	高校生のインターンシップを受け入れている。
「中勸助展」関連事業	公共施設、その他	「中勸助を知る会」、社会教育課、中央図書館、博物館	令和6年度が中勸助が平塚に居住して100年になるのを記念し中勸助展を実施する。(令和6年度のみ事業)